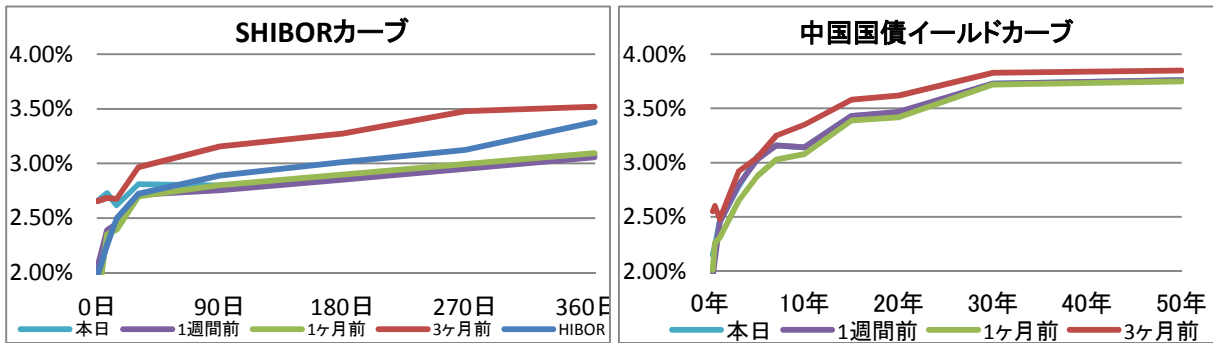


①市場概況

基準レート		2019/3/15	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7167	-0.0068
	JPY/CNY	6.0119	-0.0144
SHIBOR	3M	2.7990%	+0.0440%
国債利回り	10年	3.14%	+0.00%
上海総合指数		3,021.75	51.89



(1) 概況

貿易統計への失望から前週末に大幅に下落していた株式市場は米中通商協議進展や15日に閉幕する中国全人代に対する期待から反騰したものの、債券市場は鉱工業生産や固定資産投資等の経済指標が中国経済の厳しさを確認する内容となったことを冷静に受けとめて大きな変動には至っていない。外為市場では米中通商協議を材料に行き来する展開となった。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日はなかったものの、納税、準備預金積立て、地方債発行等の要因により、短期資金の需給がタイトになったことから週末に200億元のリバースオペを実施。

(3) 主な経済指標

- ・ 鉱工業生産（1～2月）は、前年同期比+5.3%に減速（2002年以来の低水準）。自動車、携帯電話の減少が顕著。
- ・ 固定資産投資（1～2月）は、前年同期比+6.1%。製造業や民間投資の減速をインフラ投資が埋め合わせ。
- ・ 小売売上高（1～2月）は、前年同期比+8.2%と、自動車販売の減少が続く中、旅行・飲食・ネット消費が牽引。
- ・ 新築住宅価格（2月）は、前年比+10.4%（前月+10.0%）、前月比でも+0.5%と46ヶ月連続での上昇となったものの、上昇した都市数は70都市中57都市に減少。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.6550%	2.6000%	2.7300%	
1W	2.7280%	3.0000%	2.7600%	2.7000%
2W	2.6170%	2.5000%	2.7500%	2.7500%
1M	2.8100%	3.0000%	3.0000%	3.0500%
3M	2.7990%	2.7990%	2.9000%	2.8500%
6M	2.8580%	3.2800%		2.9800%
9M	2.9560%			3.0500%
12M	3.0770%	3.2770%		3.1400%

市場全体としての需給に不安はないものの、四半期末を控えていることに加え、足下資金需給がややタイトとなり大手行の出しが細ったことから月末越えの金利水準がやや上昇したが、取り急ぎは見られておらず落ち着いた取引が続いている。NCD市場においても発行市場では金利水準を若干高めにする事で全期間ともに順調に消化されており、流通市場でも3ヶ月2.80%、年末3.00%、1年3.10%を若干上回る水準で比較的活発に取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	SHIBOR	無担保資金
ON	2.42%	2.45%
1W	2.45%	2.50%
1M	2.60%	2.70%
3M	2.90%	3.00%
6M	3.20%	3.25%
12M	3.50%	3.60%

四半期末が近づくとつれて月末越え資金調達ニーズが高まりつつあるものの、足下の資金調達に問題がないことから月末越え資金の調達を急ぐ向きは少なく、安定している。1ヶ月ものが2.60%～2.70%で活発に取引されているものの、長めの期間では引き続き積極的なビッドが少なく、出合いは限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.15%	2.39%	2.79%	2.91%	3.28%
6M	2.23%	2.47%	2.94%	3.09%	3.34%
1Y	2.46%	2.70%	3.07%	3.26%	3.58%
3Y	2.78%	3.07%	3.54%	3.65%	4.24%
5Y	3.06%	3.39%	3.89%	4.03%	5.04%
10Y	3.14%	3.59%	4.31%	4.44%	5.57%

株式市場の反騰を受けて債券先物は売られがちの展開となったものの、債券現物市場では景気動向、米中通商協議見通しとともに債券売りを正当化する材料に乏しいことからしつかりの展開となった。人民元資金市場で資金需給がややタイトとなったことからこれまで大幅に買い越されていた中短期の信用債で換金売りが見られたものの、調整の範囲内の動きとなっている。イールドスプレッドは、中期ゾーンの利回りの小幅上昇による形状変化が見られるが調整の範囲内であり、信用スプレッドは信用債利回りの上昇による拡大が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	0.4 / 0.6
1M	4.0 / 4.8
3M	7.0 / 10.0
6M	10.0 / 20.0
9M	11.0 / 35.0
12M	28.0 / 38.0

対ドル基準値は6.7167と前週末比△68pipsのドル安元高、対円基準値は6.0119と同△144pipsの円安元高と、週初から米中通商協議進展への期待から人民元高での設定が続いていたが、四半期末を控えたドル買いーズも強く、米中通商協議に対する米高官やトランプ大統領のコメントが早期進展の実現に疑問を投げかけるものだったことから週後半にかけてドル高に転じる行って来いの展開。スワップ幅は、人民元短期金利市場での金利上昇や実需のビッドが強いこと等により、全期間ともディスカウントからプレミアムに一気に戻している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.60%		2.32%
6M	2.60%	2.91%	2.35%
9M	2.61%	2.97%	2.34%
1Y	2.61%	3.03%	2.36%
3Y	2.78%	3.27%	2.55%
5Y	2.97%	3.48%	
7Y	3.14%	3.65%	
10Y	3.30%	3.81%	

債券先物が売られ、短期資金市場での金利上昇によりこれまで積極的に買われてきた中短期の信用債が弱含んだことから、金利スワップの金利水準も上昇に転じて、全人代前の水準に戻している。イールド形状に大きな変化は見られない。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。